

城崎道路 技術検討会（第1回）
説明資料

国土交通省近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

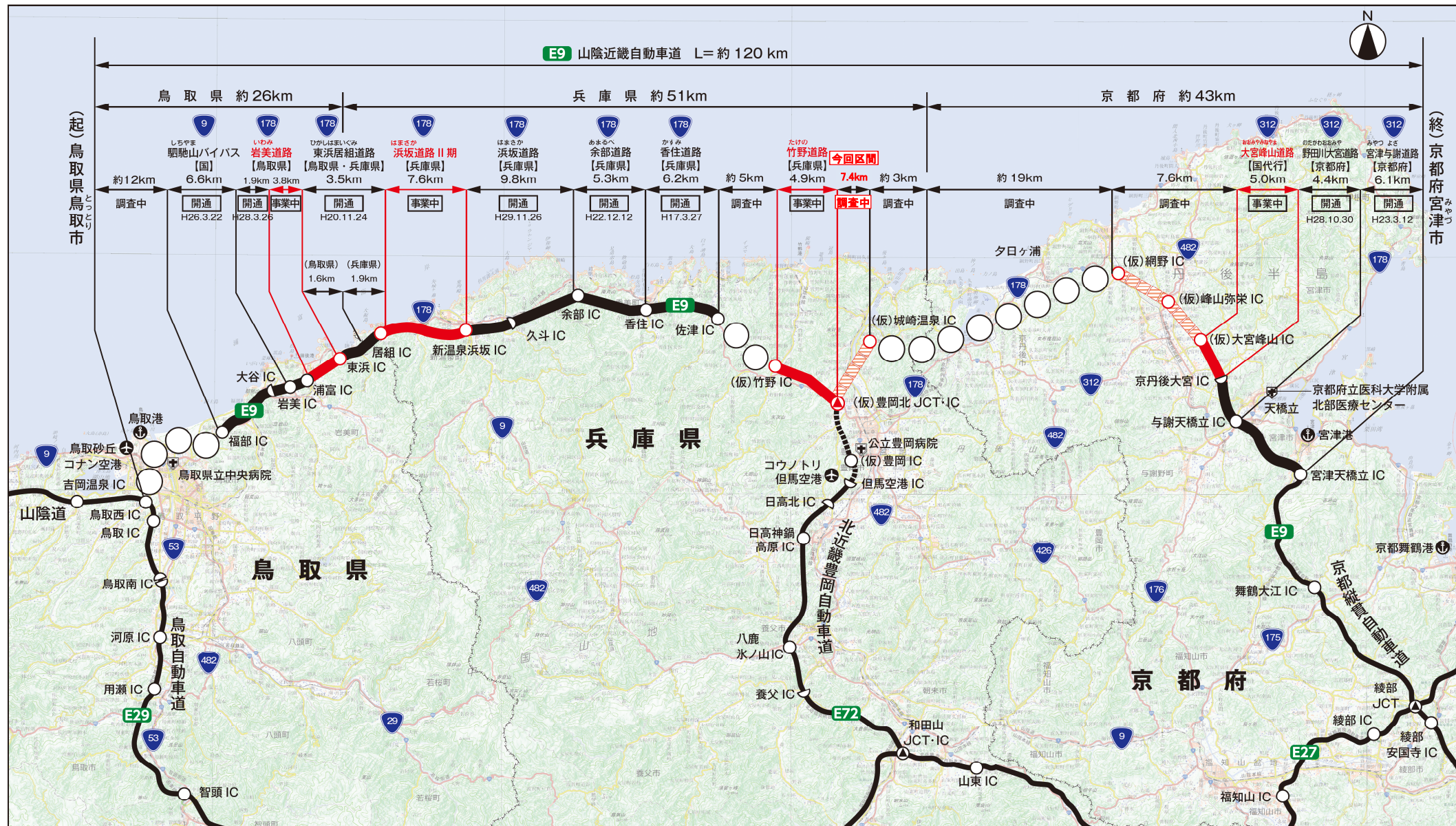
目次

1. 技術検討会の概要	・ ・ ・	2
2. 技術的課題への対応について	・ ・ ・	8
3. 現地調査計画	・ ・ ・	22
4. 今後の進め方（予定）	・ ・ ・	26

1. 技術検討会の概要

1. 技術検討会の概要（山陰近畿自動車道について）

- 山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市から京都府宮津市に至る延長約120kmの高規格道路。
- 山陰近畿自動車道が整備されることで、北近畿豊岡自動車道や京都縦貫道、鳥取自動車道、山陰道と接続し、格子状の高速道路ネットワークが形成される。



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 20 万を複製したものである。(承認番号 平 28 情複、第 220 号)

開通区間： 事業中区間： (山陰近畿自動車道) 未事業化区間： (都市計画決定済) (都市計画未決定)

1. 技術検討会の概要 (山陰近畿自動車道について)

- 山陰近畿自動車道の主な整備効果は、①大規模災害時のリダンダンシーの確保、②広域観光交流圏の拡大、③産業活動の発展と企業立地の促進、④地域と医療機関をつなぐ命の道ネットワークの確保。

①大規模災害時のリダンダンシーの確保

- 平成30年7月豪雨では、中国自動車道などの高規格幹線道路網が通行止め
- 南海トラフ巨大地震の発生時には、日本海側で物資輸送などを行う準備が必要



唯一の生命線「山陰道・山陰近畿道」はミッシングリンク状態!

日本海国土軸



鉄道も長期間不通

②山陰海岸ジオパークをはじめとする広域観光交流圏の拡大

- 管内府県市町にて山陰海岸ジオパーク推進協議会を設立・運営
- 山陰近畿自動車道沿線地域の年間観光客数は1,841万人 (R元) となっており、近年増加傾向

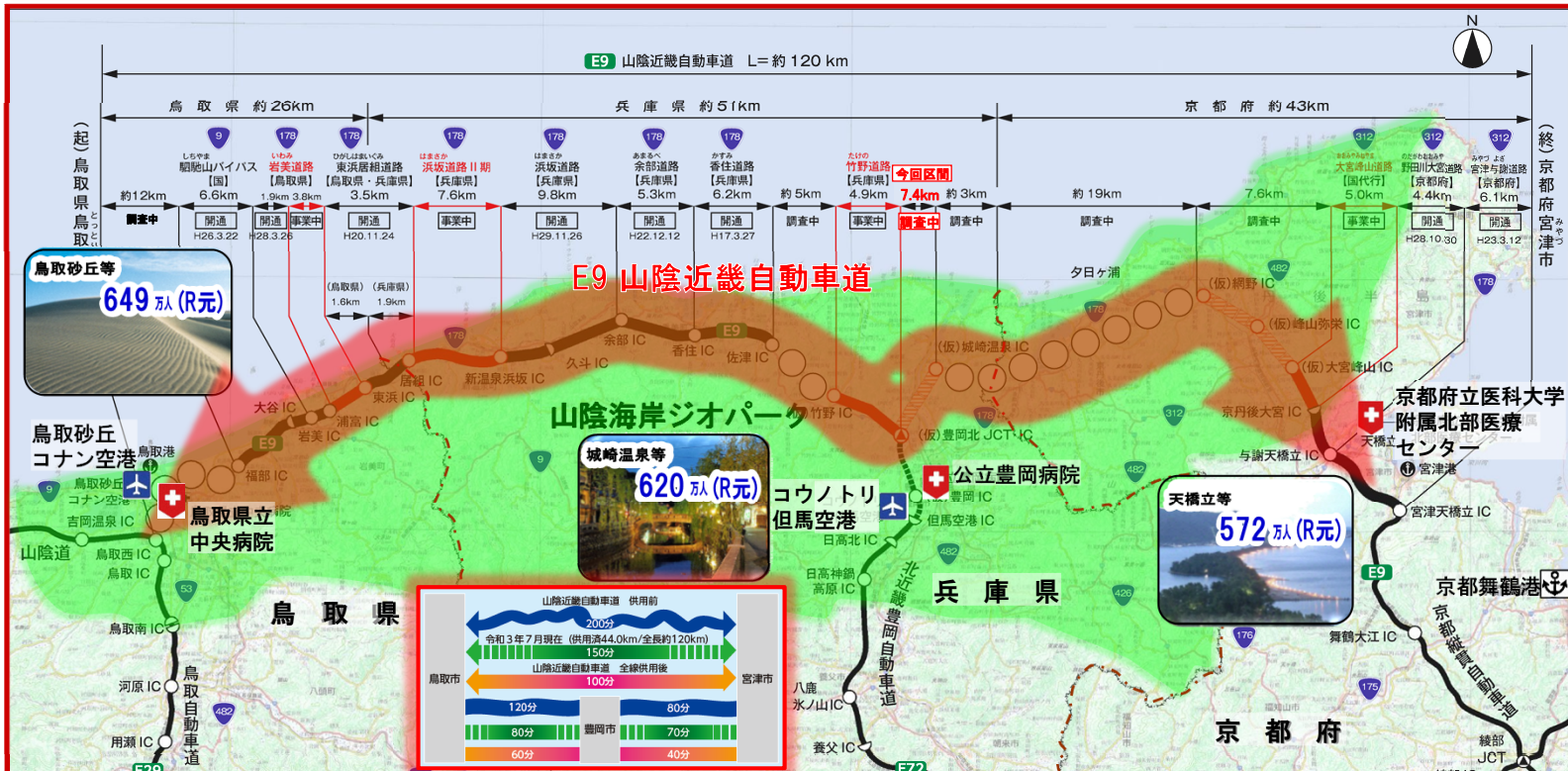
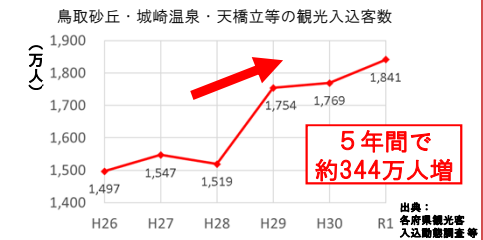
山陰海岸ジオパーク
～日本海沿地に持つ多様な地形・地質・風土と人々の暮らし～

貴重な美しい地形・地質

- 山陰海岸ジオパーク: 山陰海岸ジオパーク推進協議会
- 鳥取県: 鳥取県観光推進協議会
- 兵庫県: 兵庫県観光推進協議会
- 京都府: 京都府観光推進協議会

国際的な重要性

山陰海岸ジオパークは、世界自然遺産の一角として、国際的な観光資源として注目されています。



③日本海沿岸地域の産業活動の発展と企業立地の促進

(鳥取県東部・但馬・丹後経済団体交流会)

3府県の経済団体が経済活動策について議論し、山陰近畿自動車道の整備促進などに向けた共同声明を取りまとめた

経済界の取組

- 鳥取商工会議所
- 豊岡商工会議所
- 丹後地方商工団体連絡会

令和2年2月5日 宮津市にて

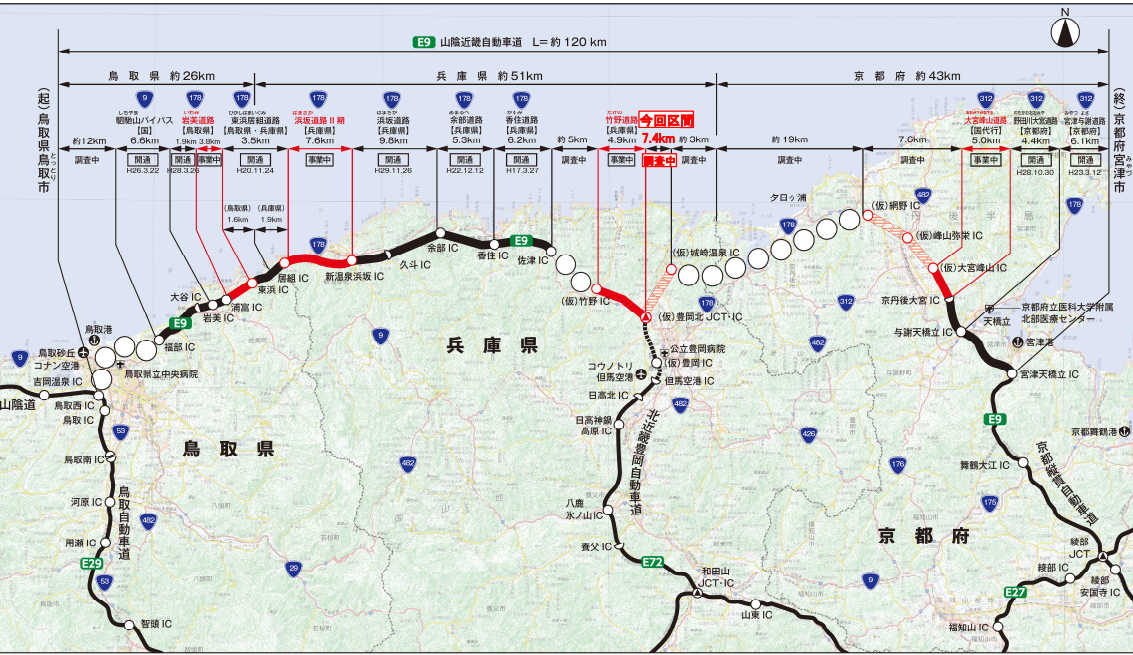
④地域と医療拠点をつなぐ命の道ネットワークの確保

- 救急医療体制の確立には、定時性の確保やアクセス時間の短縮が必要
- 豊岡病院ではドクターカーも活躍

1. 技術検討会の概要（山陰近畿自動車道（豊岡北～城崎温泉）について）

- 山陰近畿自動車道(豊岡北～城崎温泉)は、高規格道路 山陰近畿自動車道の一部を構成する延長約7.4kmの道路。
(以降、城崎道路とする)

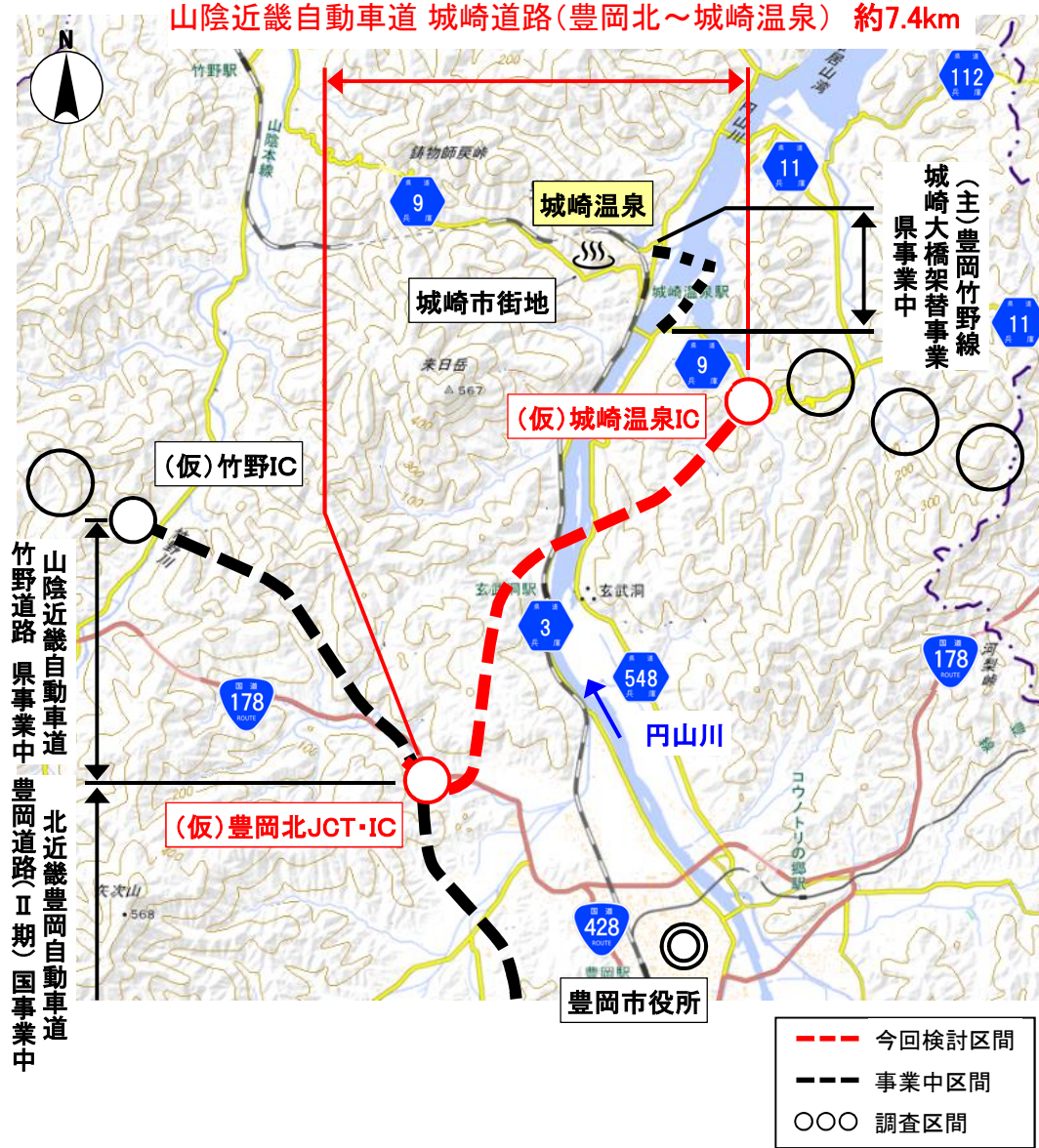
<広域図>



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 平28情機、第220号)
 開通区間：—— 事業中区間：—— (山陰近畿自動車道) 未事業化区間：—— (都市計画決定未済)
 (山陰近畿自動車道以外) (都市計画未決定)

出典：山陰近畿自動車道リーフレット

<拡大図>

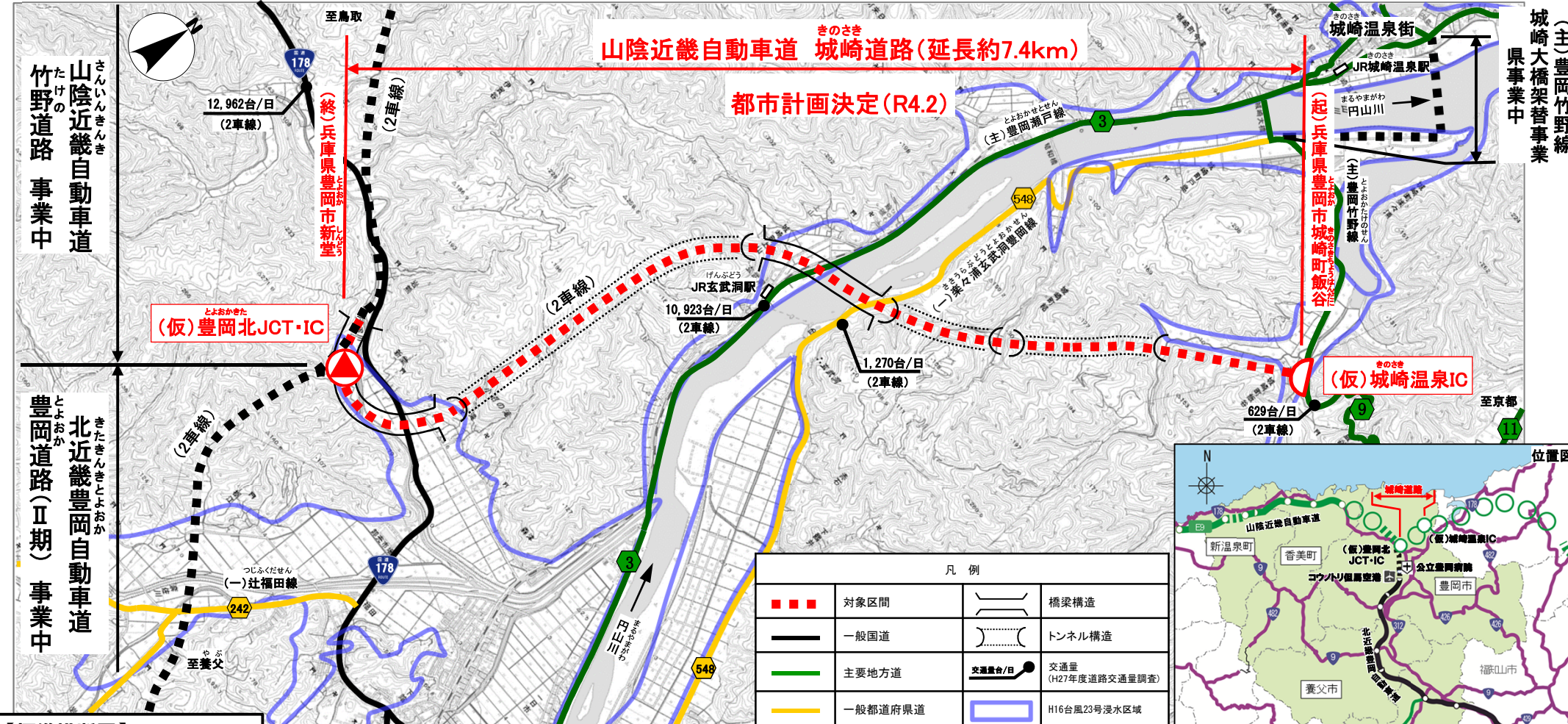


山陰近畿自動車道 北近畿豊岡自動車道
 竹野道路 豊岡道路(Ⅱ期) 国事業中
 豊岡市役所

--- 今回検討区間
 --- 事業中区間
 ○○○ 調査区間

1. 技術検討会の概要 (城崎道路について)

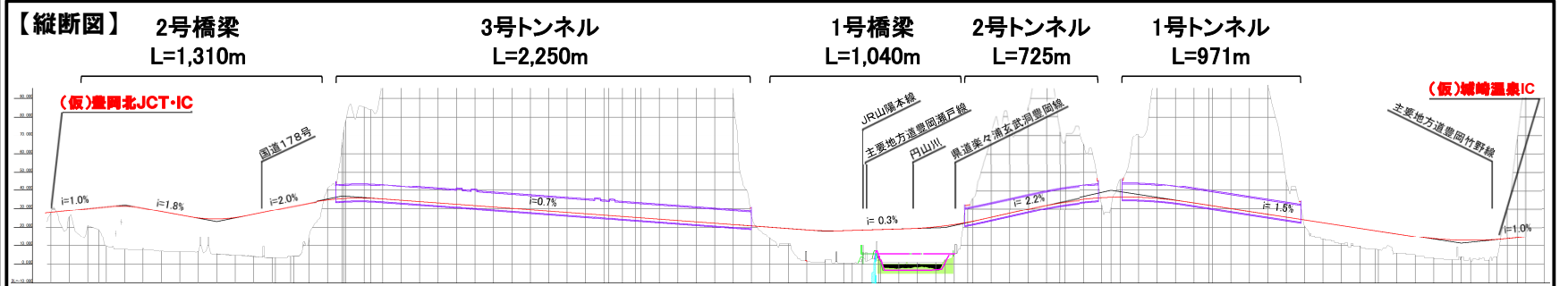
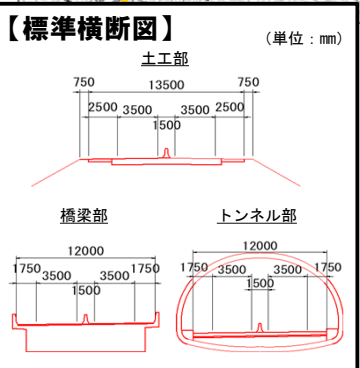
- 城崎道路は第1種第3級の2車線道路。延長約7.4kmのうち、橋梁延長が約2.4km、トンネル延長が約3.9kmとなっている。



(主)豊岡竹野線
城崎大橋架替事業
県事業中

山陰近畿自動車道
竹野道路 事業中

北近畿豊岡自動車道
豊岡道路(Ⅱ期) 事業中



1. 技術検討会の概要（検討会の目的）

- R元年度の兵庫県技術検討会において、事業実施時に想定される下記5つの技術的課題及び対応案をとりまとめている。

【兵庫県技術検討会での5つの技術的課題及び対応案】

課題①閃緑岩が貫入した地質構造

トンネル掘削時に貫入岩（閃緑岩）の掘削に伴う突発湧水や切羽・天端の崩落が懸念

【対応案】
貫入岩が存在することを前提とした設計と高度な施工管理が必要

課題②水源地への近接

周辺地域の重要な水源として利用されている二見水源地に近接するため、トンネル掘削に伴う水枯れが懸念

【対応案】
水源への影響を回避するための高度な技術・経験を要する調査・設計と施工が必要。

課題③河川内における厚い軟弱地盤

円山川渡河部は軟弱地盤層が厚く、非出水期（11～5月）内では、通常の仮橋による施工が困難

【対応案】
厳しい現場環境に応じた高度で的確な工法選定と施工計画が必要

課題④地すべりの要因（北但層群の分布）

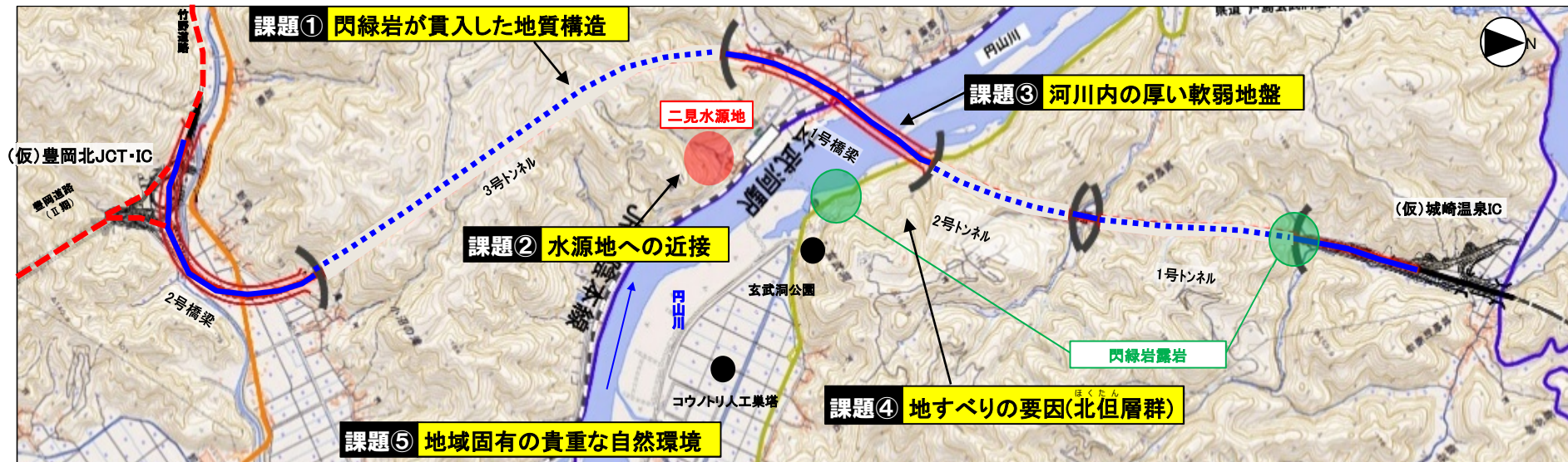
ルート付近には地すべりブロックが点在しており、トンネル掘削による緩みの影響で地すべりが滑動する危険性あり

【対応案】
施工時に地すべりに遭遇した場合の対策方法や施工管理に高度な技術力が必要

課題⑤地域固有の貴重な自然環境

近接するコウノトリ生息地や玄武洞など地域固有の貴重な自然環境への配慮が必要

【対応案】
貴重な自然環境に対する負荷の少ない設計、施工が必要



城崎道路技術検討会は、兵庫県技術検討会にて示された上記の技術的課題及び対応案に対して、課題解決に向けた高度な技術力の必要性を確認することを目的とする。